

# 2023 年度第 1 回 CPD 協議会公開シンポジウム

## ～人生の「マルチステージ」をつなぐ学び直し～

日 時：2023 年 11 月 17 日(金) 9:30～11:55

場 所：オンライン (Zoom 会議)

主 催：公益社団法人 日本工学会 CPD 協議会

定 員：制限なし

参加料：無料

我が国の研究力の低下、イノベーションの停滞が明確となって既に四半世紀超が経過し、状況はますます深刻化していますが、これを打破するための長期的な重要施策は「人材育成」であることは論を待たないところです。先端テクノロジーが次々に生まれて急速な進歩を続ける現代では、専門知識や先端技術を繰り返し学び続けるとともに、広い視点で課題を俯瞰し、広範な分野から総合的に考察する力が求められます。ここでは、人生 100 年というマルチステージ社会を迎えた今、産業基盤を支え続ける「継続教育」は如何にあるべきかをテーマとするシンポジウムを企画しました。皆様の奮っての参加と積極的な議論を期待致します。

司会 五十嵐 仁一 日本工学会副会長、CPD 協議会副会長

プログラム (敬称略)	
9:30～9:35	開会のあいさつ 石原 直 日本工学会副会長、CPD 協議会会長
9:35～10:05	基調講演「大学は「マルチステージ」「マルチビジョン」の触媒となり得るか？」 吉見俊哉 國學院大学教授、元東京大学副学長 過去 30 年に及ぶ日本停滞の真犯人は「タテ割り」である。単線の人生、一元的価値、ピラミッド型社会組織から創造性は生まれない。このタテ割りを、平成日本はついに崩せなかった。大学も、同じ単線の年齢主義の中にある。「マルチステージ」「マルチビジョン」の大学の創造は、このタテ割り日本への最期の挑戦となるだろう。
10:05～10:25	講演 1 「電気・電子系高度技術者育成 ECE プログラムの実施と今後の課題」 廣崎膨太郎 元 CPD 協議会会長、元 NEC 副社長 本講演は、我が国の電気・電子系産業界の競争力強化に向けて 2020 年よりスタートした高度技術者育成 ECE プログラムの設立趣旨および実施状況につき御報告すると共に、我が国産業界・学術界双方にとっての今後の課題に関する試見をまとめたものである。
10:25～10:45	講演 2 「AI2oT (Artificial Intelligence and IoT) ECE プログラムの現状と未来」 エレクトロニクス実装学会 秋永広幸(産業技術総合研究所)、 百瀬啓(九州工業大学)、浅井哲也(北海道大学) AI と IoT 融合のための材料から回路までの要素技術と、データの収集からセキュリティやアーキテクトまでを織り込んだ座学、そして FPGA2I シールドを用いて AI を楽しむ実習を行っている。受講生の声を取り入れたプログラム改訂の経緯、そして今後の課題を述べる。
10:45～11:05	講演 3 「教育から学習へ -土木学会の継続学習-」 土木学会 継続学習委員会委員長 尾高義夫 (矢作建設工業) 新型コロナ禍での e ラーニングの拡大、IT や DX の進展等で、土木技術者の学び方やその対象も変わってきました。土木学会では、本年 4 月から新しい CPD 制度をスタートし、「自らの意志にもとづく自主的な学び」を明確にして、名称を教育から学習に変更しました。本講演では、土木学会が取り組む継続学習関連活動のご紹介させていただきます。
11:05～11:10	休 憩
11:10～11:50	意見交換 人生の『マルチステージ』をつなぐ学び直し パネリスト 吉見俊哉、廣崎膨太郎、秋永広幸、尾高義夫 モデレータ 五十嵐仁一 日本工学会副会長
11:50～11:55	閉会のあいさつ 高木真人 CPD 協議会副会長

\*プログラムは、都合により変更となる場合があります。

お申込は日本工学会ホームページから WEB 申込をお願いいたします。  
お申込みいただきますと、折り返し、受付確認と Zoom の URL などが、記入頂いたメールアドレスに送信されます。

お申込 <https://www.jfes.or.jp/>

公益社団法人日本工学会 CPD 協議会 Tel:03-6265-0672 E-mail: [eng@jfes.or.jp](mailto:eng@jfes.or.jp)

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル

☆ ☆

CPD 協議会会員（20 学協会）： 安全工学会、空気調和・衛生工学会、計測自動制御学会、地盤工学会、情報処理学会、ターボ機械協会、電気学会、電気設備学会、電子情報通信学会、土木学会、日本技術士会、日本原子力学会、日本コンクリート工学会、日本船舶海洋工学会、日本塑性加工学会、日本デザイン学会、日本マリンエンジニアリング学会、日本冷凍空調学会、農業農村工学会、プレストレストコンクリート工学会